



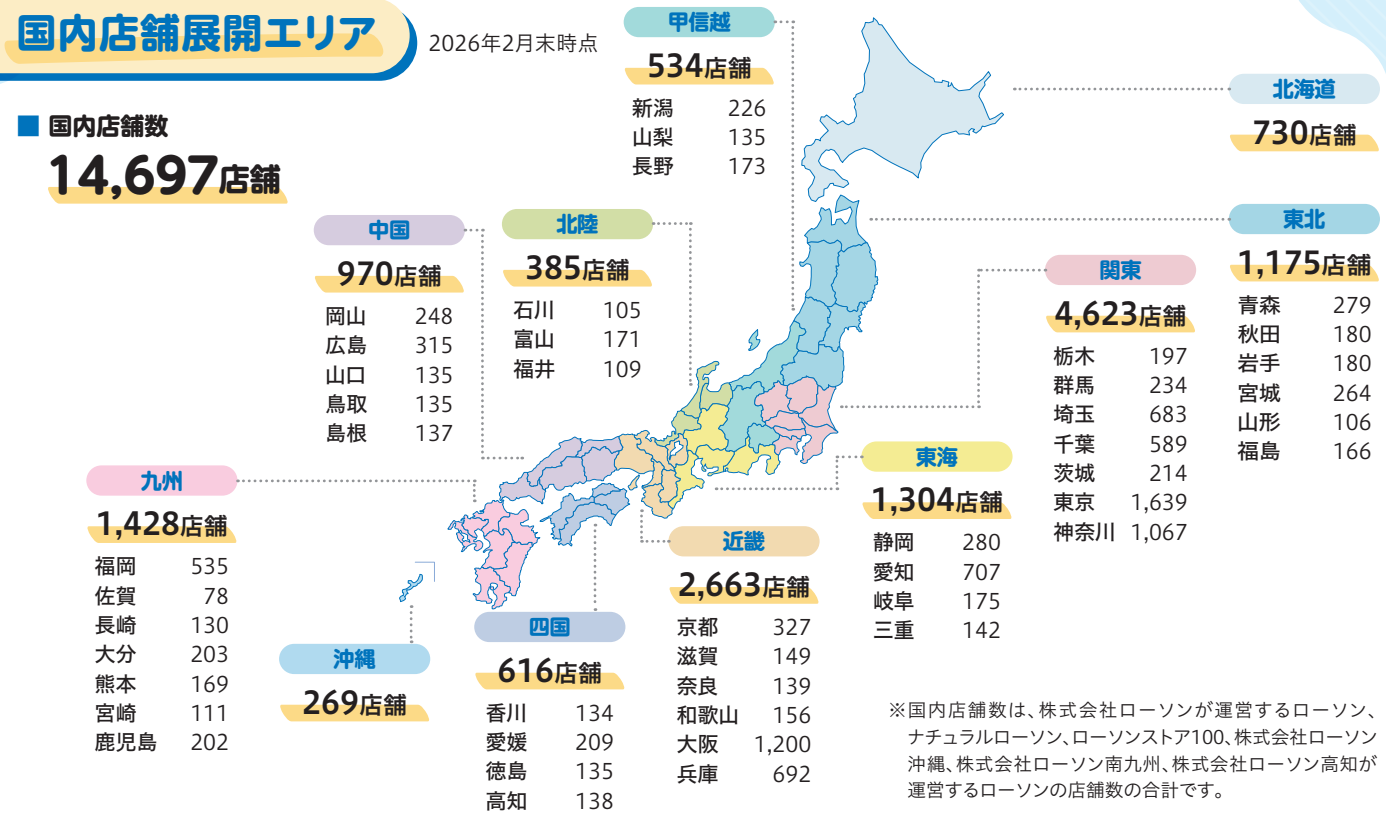
ローソンは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

2026 LAWSON SDGs HANDBOOK

国内店舗展開エリア

2026年2月末時点

国内店舗数
14,697店舗



※国内店舗数は、株式会社ローソンが運営するローソン、ナチュラルローソン、ローソンストア100、株式会社ローソン沖縄、株式会社ローソン南九州、株式会社ローソン高知が運営するローソンの店舗数の合計です。

会社概要

2026年2月末時点

社名	株式会社ローソン	資本金	585億664万4千円
所在地	東京都品川区大崎一丁目11番2号 ゲートシティ大崎 イーストタワー	社員数	12,087人 (連結)
代表者	代表取締役 社長 竹増 貞信	事業内容	コンビニエンスストア「ローソン」の フランチャイズチェーン展開
設立	1975年4月15日	全店舗売上高	3兆223億円 (連結)

ローソンのサステナビリティへの取り組みを動画で紹介しています！

ローソンのサステナビリティ



環境ビジョンや3つの約束「圧倒的な美味しさ」「人への優しさ」「地球(マチ)への優しさ」についてわかりやすく紹介しています。

ローソンSDGsお仕事ツアー



小学生のお子さまにもわかりやすく伝えるように制作しました。アバターオペレーターのあおいさんが、ローソンのSDGsの取り組みについて紹介します。

動画はこちらから
ご覧いただけます



表紙について

粘土作家・立体イラストレーターである**フジイカホさん**を起用し、「みんなと暮らすマチ」の様子を粘土で表現しました。

株式会社ローソン

サステナビリティ推進室
〒141-8643
東京都品川区大崎一丁目11番2号
ゲートシティ大崎 イーストタワー
<https://www.lawson.co.jp/>

2026年10月発行 次回発行2027年10月予定
© 1975-2026 Lawson, Inc. All rights reserved.

「SDGs ハンドブック2026」
に関する感想を
お待ちしております！

こちらから
アンケートに
ご協力ください



本冊子の
PDFファイルは
こちら



TOP MESSAGE

いっしょに
ハッピー！

お客さまとともに、マチの暮らしに
寄り添い、挑戦し続けるローソンへ



代表取締役 社長 兼 CSO※
竹増 貞信

ローソンは、「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」というグループ理念のもと、日々の暮らしを支える社会インフラとして、持続可能な社会の実現に取り組んでいます。社会環境が大きく変化し、お客さまの価値観や暮らしが多様化するなかで、コンビニエンスストアに求められる役割も広がっています。私たちは、地域社会への貢献や環境負荷の低減、誰もが安心して働ける環境づくりなど、さまざまな社会課題に真摯に向き合い、持続的な成長につなげてまいります。

2030年の創業55周年に向けて、「ローソングループ Challenge 2030」のもと、ビジネスを通じた社会課題の解決と圧倒的な成長の両立を目指しています。

有事の際に地域を支える支援拠点となる「災害支援ローソン」や、日常的に便利に楽しくお買い物いただける「地域共生コンビニ」など、地域社会を支える取り組みを進めています。さらに、ローソン店舗がコミュニティのハブとなり、世代を超えた人々のリアルなつながりを創出し、マチの再創生活を目指す「ハッピーローソントウン」をオープン。今後もさまざまなチャレンジを通じ、ローソンの店舗を中心に、人もマチもより輝ける場所にしていきたいと考えています。

これからもローソンは、マチに暮らす皆さまにとって、より便利で、より安心でき、より信頼される存在であり続けるとともに、事業成長と社会課題の解決の両立に取り組み、「Real × Tech Convenience」の実現に挑戦してまいります。

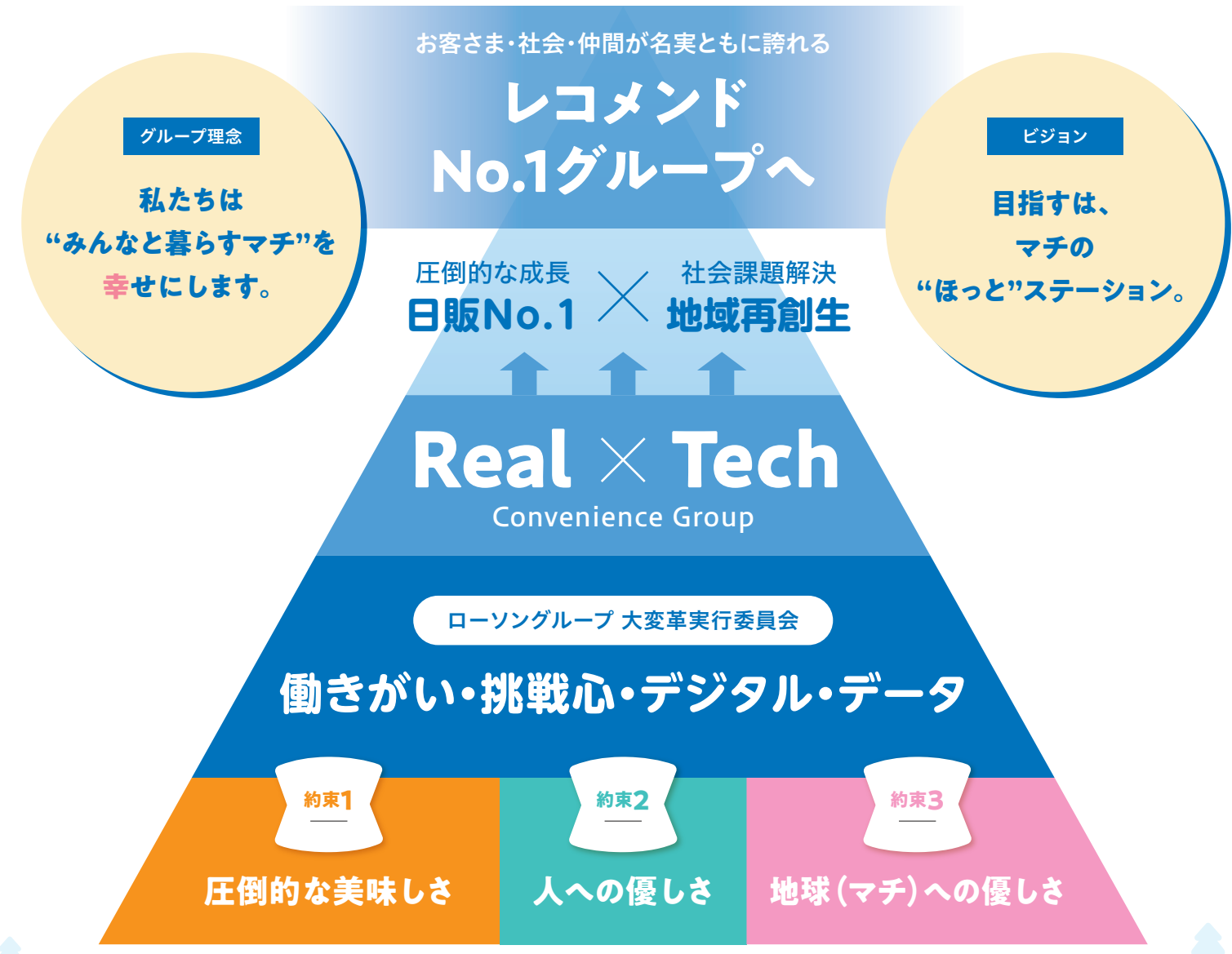
※CSO=チーフ・サステナビリティ・オフィサー：最高サステナビリティ責任者

CONTENTS

- P1 トップメッセージ／ローソングループChallenge 2030／環境ビジョン
- P3 ローソンのSDGsとは
- P5 いろいろなローソンのカタチ
- P7 圧倒的な美味しさ
- P9 人への優しさ
- P11 地球(マチ)への優しさ
- P13 マンガでわかる「FOOD GOOD SMILE」
- P17 エリアでの取り組み
- P19 「加盟店SDGs表彰」受賞店舗の取り組み
- P21 グループ会社の取り組み

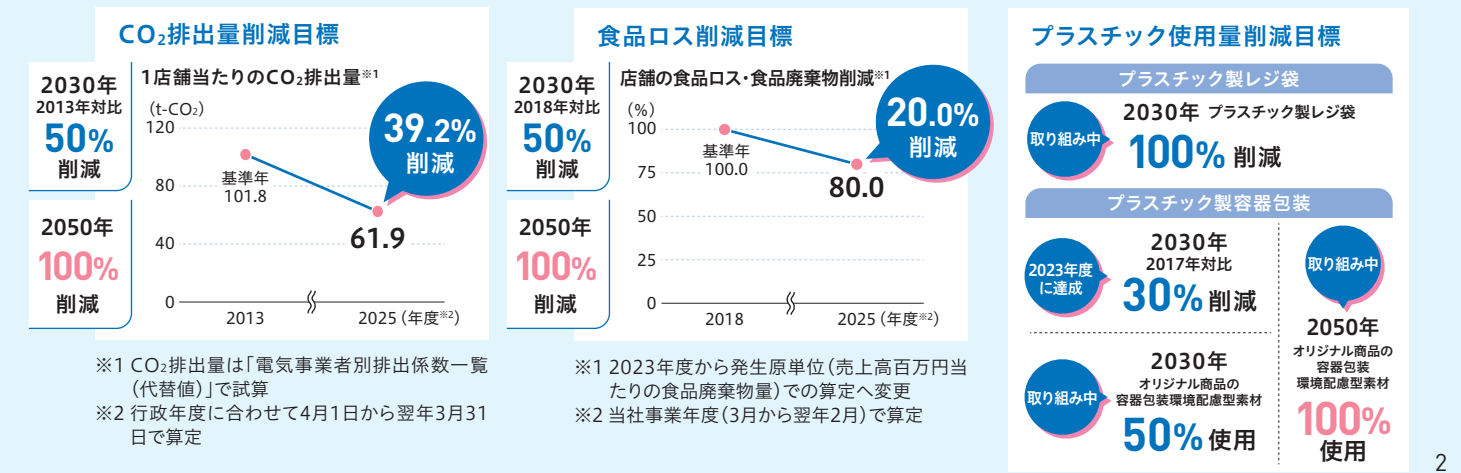
LAWSON Group

Challenge 2030



環境ビジョン Lawson Blue Challenge 2050！ ～“青い地球”を維持するために！～

SDGsの目標年である2030年をターゲットに、社会・環境面に関わる目標(KPI)を策定し、達成に向けて取り組んでいます。さらに脱炭素社会を2050年に実現し、青く豊かな地球環境を未来につなげるために、長期的なゴールを目指してチャレンジを続けています。



ローソンのSDGsとは

ローソン 3つの約束

事業方針「3つの約束」をもとに、環境・社会・経済に対する影響が大きい課題を「重点課題」として選定しています。「重点課題」への対応を進めることで、マチの“ほっと”ステーションの実現を目指すとともに、SDGsの達成に貢献していきます。

詳しくは
こちらを
チェック！



約束1

圧倒的な 美味しさ

>P7

商品・サービスにあっと驚くような発見

重点課題

- 安全・安心と社会・環境に配慮した圧倒的な高付加価値商品・サービスの提供



約束2

人への 優しさ

>P9

キレイなお店づくりと
気持ちのよい接客

重点課題

- 商品や店舗を通じてすべての人の健康増進を支援
- 働きやすく、働きがいのある環境の提供
- 子どもの成長と女性・高齢者の活躍への支援



約束3

地球(マチ) への優しさ

>P11

食品ロスやプラスチック使用量、
CO₂排出量の削減

重点課題

- 社会インフラの提供による地域社会との共生
- 脱炭素社会への持続可能な環境保全活動



40周年をむかえた

「からあげクン」も SDGsにチャレンジ!

CHALLENGE!



ローソンの看板商品「からあげクン」のこだわり

からあげクンは、1986年4月15日の発売以来、累計販売数が50億食*を超えるローソンの看板商品です。お客さまに安全・安心、そしておいしい、からあげクンをお届けするために、国産若鶏のむね肉を使用しています。
※2026年8月5日時点

人への
優しさ
1個当たりの
たんぱく質量2.9g、
糖質量1.5g*
※レギュラーの場合
健康への配慮

地球
(マチ)への
優しさ
調理の際に使用した
食用油は家畜のエサや
石けんにリサイクル
廃棄物の削減

圧倒的な
美味しさ
国内の工場で
徹底した
品質管理の
もと製造
安全・安心

地球
(マチ)への
優しさ
国産若鶏の
むね肉使用
輸送にかかる
CO₂排出量の削減

人への
優しさ
定番4種のからあげクンが
LGBTQ+パッケージで登場

多様な人財の
活躍をサポート



<詳しくはP9へ

工場見学動画
はこちら



いろいろな ローソンのカタチ

CHALLENGE!

グループ理念「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」のもと、
新たなローソンのカタチにチャレンジし、
世代を超えて誰もが安心して楽しく暮らせるマチを
目指していきます。

大阪府
池田市



ハッピーローソントウン
池田伏尾台店

HAPPY
LAWSON
TOWN



地元工場直送の
ベーカリー



生鮮コーナー



コミュニティスペースでは
イベントを開催

ハッピーローソントウン

通常のコンビニの品揃えに加え、株式会社阪急デリカの工場から直送したベーカリーや惣菜のほか、野菜を中心とした生鮮品を販売。「Pontaよろず相談所」や、地域の皆さまの交流・ワークショップ・イベントの開催等にもご利用いただける「小上がりのある広いコミュニティスペース」や「屋外広場」を設置。災害支援ローソンとしての機能も内包しています。



Pontaよろず相談所

KDDI株式会社とローソンが連携し導入を進めている、ローソン店舗に設置したモニターからオンラインで様々なご相談が可能なサービスです。愛媛県今治市をはじめ全国20店舗以上に設置しています。



群馬県
高崎市

複数の再生可能エネルギー有効活用 (エネルギーマネジメント)

屋根置き太陽光発電設備のほか、垂直太陽光発電設備、ソーラーカーポート、蓄電池を設置。太陽光で発電された電力のうち店舗で使いきれない電力は蓄電池へ充電し、夜間に放電を行うなど、エネルギーマネジメントの実証実験を2025年11月から実施しています。

ローソン高崎下大類町店



垂直両面太陽光



ソーラーカーポート

千葉県
富津市

災害支援ローソン(1号店)

南海トラフ巨大地震などの災害に備え、平時にはお客さまのお買い物拠点、災害時には地域住民の支援拠点となる「災害支援ローソン」の取り組みを2026年2月に開始しました。



備蓄用倉庫での飲料水保管



富津市認定「災害時協力井戸」



ローソン富津湊店
(災害支援ローソン1号店・千葉県富津市)

Interview インタビュー



株式会社ローソン
近畿カンパニー 兵庫東支店
マネジメントコンサルタント
岡 宏樹

地元の皆さんと一緒にマチの活性化を目指します

店舗はニュータウンの入口に位置し、ファミリー層やシニアのお客さまを中心にご利用いただいています。冷凍の肉や魚、医薬品の取扱いや、週末の青果市の開催など、品ぞろえを充実させました。地域の方に立ち寄っていただけるようコミュニティスペースを広く設けているのも特長です。お買い物後にひと息ついたり、親子の待ち合わせ場所としてご利用いただくなど、多世代の方が交流できる場所として、いつも賑わっています。地元の皆さんとローソンが一緒になってマチを活性化していくことを目指しています。

Interview インタビュー



株式会社ローソン
事業サポート本部
リスク統括部
部長
石合 大悟

マチ(地域)にとって安心できる場所に

過去の様々な災害や能登半島地震、カムチャツカ半島沖の地震に伴う津波警報の教訓を活かし、「災害情報の受発信」「水・食料の供給」「通信・電力の確保」の軸で機能を検討しました。災害時には、お客さまへ店内のデジタルサイネージを活用して災害情報を発信します。また、常時、備蓄倉庫への飲料水や井戸での生活用水を確保しています。蓄電池などから給電をすることにより、災害時にもレジの稼働や炊飯をしておにぎりを作成できるように取り組んでいます。今後もマチ(地域)の安心につながる取り組みを広げていきたいと考えています。

ローソン
3つの約束
約束1

圧倒的な 美味しさ



「レインフォレスト・
アライアンス認証」10周年
MACHI caféカップ
記念デザインを展開

持続可能なコーヒー栽培について考えるきっかけづくりとして、2025年には「国際コーヒーの日(10月1日)」に合わせて「MACHI café」のホット用カップを「レインフォレスト・アライアンス認証※」10周年記念デザインで展開しました(数量限定につき現在は終了)。

※認証についてはP11ご参照



店炊きごはんを提供
「まちかど厨房」

店内の厨房スペースで調理を行う「まちかど厨房」は店炊きごはんのおいしさのさらなる追求として2022年から使用する米をこれまでの国産ブレンド米からエリア別に単一銘柄米に切り替えています(2026年7月時点)。現在の展開店舗数は厨房スペースをもつ小売店としては国内最大規模となる約10,000店舗(2026年5月時点)となっています。店内で必要な分だけ調理することで食品ロスの削減にもつながっています。



お客さまの声を反映し、
商品やサービスを改善

マチの“ほっと”ステーションとして、お客さまとのつながりを大切にするため、商品やサービスの改善にお客さまの声を反映し、改善例をホームページに掲載しています。「食の安全・安心への取り組み」のページでは商品に関する疑問についてQ&A方式で掲載しています。また、2025年に店内マルチメディア端末のお客さま向け相談窓口「Loppiガイドセンター」でHDI-Japan※による外部評価「三つ星認証」を獲得。これにより、お客さま向けのお問い合わせ先など主要5窓口すべてにおいて、HDI「三つ星」を獲得しました。

※ITサポートサービスにおける世界最大のメンバーシップ団体「HDI」の日本法人



健康テーマに沿った
健康配慮商品を展開

お客さまの健康意識の高まりにお応えするため、ローソンでは健康のために重要なテーマを掲げ、たんぱく質や食物繊維、糖質、食塩相当量などに配慮した商品開発を行っています。2001年から展開しているナチュラルローソンに加え、創業50周年を機に立ち上げた新ブランド「3つ星ローソン」でも、“健康”を当たり前に考えた商品づくりに取り組んでいます。

「健康」への
取り組みはこちら



国際女性デーに合わせて
**女性の活躍推進と
健康づくりをサポート**

国内では20～40代の女性の約65%が貧血(鉄欠乏性)もしくは、かくれ貧血といわれています。*

3月8日の国際女性デーを機に、「マチのみんなにウェルビーイングを。～ローソンで鉄活(テツカツ)～」をテーマとして、健康づくりの一助となるよう、皆さんが鉄分と健康について考える機会を提供。あわせて、生理用品のセールを実施しました。

※厚生労働省平成21年国民健康・栄養調査より



Interview インタビュー

ナチュラルローソンは25周年!
コンセプトは「あなたらしい毎日のために」



株式会社ローソン
商品本部
ナチュラルローソン商品部
シニアマネジャー
東條 仁美

首都圏を中心に展開するナチュラルローソンは、2026年7月に25周年を迎えました。「あなたらしい毎日のために」をコンセプトに、美容や健康、環境への配慮などを行っています。ナチュラルローソン独自の開発基準「ナチュローのお約束」を設定し、ナチュラルローソンオリジナル商品の容器はプラスチック削減を図るため環境配慮素材を使用しています。また、主原料に環境配慮素材を100%使用したレジ袋や、販売用の紙袋もお取り扱いしています。



詳しくは
こちら



ローソン店長
川栄李奈さん

ローソンでハッピー!
「マチの“ほっと”ステーション」を
実現するためのプロジェクト



もっと詳しく

ローソン
3つの約束
——
約束2



コンビニのトイレ
について考える機会を提供

ローソンは、1997年に日本のコンビニエンスストアチェーンで初めてトイレをお客さまに開放しました。2022年からは「トイレの日（11月10日）」及び「世界トイレデー（11月19日）」に合わせて毎年数店舗でアートトイレを展開し、トイレについて考える機会をつくっています。2025年には、「綺麗に使いたくなるトイレ」をテーマにデザインを一般募集し、全国で新たに8作品を展開。現在は、全国20店舗でアートトイレを展開しています（2026年8月末時点）。

「からあげくん」パッケージに
LGBTQ+デザインを数量限定で導入

多様性を称え尊重する6月の「プライド月間」に合わせ、2026年に全国のローソン*で、性の多様性やLGBTQ+の支援を意味するレインボーカラーをデザインした「からあげくん」パッケージを数量限定で導入しました。複数案から社員投票により決定した「ありたい姿を自由に描く」をコンセプトにしたデザインです。当該パッケージのからあげくんの売上の一部を、すべての人がありのまま学び・働き・暮らせる社会を目指して活動している「認定特定非営利活動法人ReBit」へ2026年7月に寄付を行いました。

※約6,200店舗で展開（「ナチュラルローソン」、「ローソンスタ100」除く）



熱中症対策として店舗を
「マチのクールステーション」に

2026年4月に気象庁が「最高気温が40℃以上となる日」を「酷暑日」とすることを発表しました。2026年の夏は「マチのクールステーション」として、暑い時にはローソン店舗にお気軽にお立ち寄りいただくように店内放送や販促資材でご案内しました。



誰にでもやさしいお店
を目指して

「東京2025デフリンピック」の開催に伴い、すべてのお客さまが不自由なくお買い物ができる環境づくりを目指す取り組みを実施しました。手話講座の開催や、海外からのお客さまに向けて多言語でからあげくん紹介動画を制作。2022年から導入している「指差しシート」も活用し、さまざまなお客さまとのコミュニケーション向上を目指し取り組みを行っています。



手話講座の実施（2025年9月）
（講師：一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会所属講師）



からあげくん紹介動画

動画はこちら



外国人クルーさんの
働きやすさを追求

外国人クルーさんが働きやすいように、各種ツールを整備しています。店舗責任者・教育担当者向けには外国人を受け入れる手順や対応を示したガイドや動画を、外国人クルーさんに対してはポケットサイズで、説明にふりがなを記載したハンドブック『初めてのローソンのお仕事』のデータ配信やスマホアプリでの動画配信をしています。また、接客時に対応可能言語を示す「多言語バッジ」を導入し、より働きやすい環境づくりを目指しています。



多言語バッジ

育児休業（育業）を応援
「育ろー!」展開

育児休業（育業）の取得推進や両立を支援する「育ろー!」を展開。東京都の2025年度「育業応援パートナー事業」協力企業に選定され、男性の育業取得率は90%以上を継続。育業から復職までをサポートする環境整備を進めています。



もっと詳しく



ローソン
3つの約束
約束3

地球(マチ)への 優しさ



CO₂削減に向けた取り組み

● 冷蔵・冷凍ショーケースへの扉・カバーの設置

冷蔵・冷凍ショーケースへ扉・カバーを設置し冷気もれをなくすることで省エネを図り、CO₂排出量を削減する実験を行ってきました。2026年3月から新店・改装店舗において扉・カバーの設置を促進し、さらなるCO₂排出量削減を目指します。



冷蔵・冷凍ショーケース

● 物流・トラックの取り組み

店舗向けチルド配送車としてEVトラック「eCanter」を2台導入しました。三菱食品の物流拠点に充電設備を設置。CO₂フリーの電力プランを利用し充電から走行までのCO₂排出量を実質ゼロ※に。配送由来のCO₂排出量を年間約35.4t削減できる見込みです。

※再生可能エネルギー由来電力の活用等によりCO₂排出量を実質的に削減



プラスチック削減の取り組み

● マチカフェのふたの紙化

一部店舗で既に導入している、ホットコーヒーSサイズのふたを、プラスチックから紙へ転換しており、2026年度中に一部エリアで拡大する予定です。

● 緑茶2Lのペットボトルの軽量化(15g削減)

工場で液体をボトルに詰める際に、無菌室で常温で詰める技術を活用することにより、従来品からペットボトルの軽量化とプラスチック使用量の削減を実現しました。

● 環境・社会に配慮した認証商品

「MACHI café」では、レインフォレスト・アライアンス認証農園産コーヒー豆を使用し※、生産者や労働者の人権向上の支援に取り組んでいます。

また、「まちかど厨房」の紙容器にはFSC®認証製品を、オリジナル飲料の一部の容器にはPEFC認証製品を使用しています。さらに、全国16カ所で「ローソンファーム」を展開し、GAP認証を取得した農産物も供給しています。

※モカブレンドを除く



詳しくは ra.org/ja



FSC®は、責任ある森林管理を世界に普及させることを使命としています。www.fsc.org | FSC®N003658



FSC認証の紙を使用した例

食品ロス削減に向けた取り組み

● FOOD GOOD SMILE

お客さまと一緒に取り組む食品ロス削減プログラム。目印は消費期限が近づいた商品に貼られる黄色い値引きシールです。対象商品1個ご購入ごとに1円分として、2025年8月以降、3回の寄付企画を実施しています(2026年8月末時点)。

P13-14のマンガもチェック!



商品・値引きシール(イメージ)



売場イメージ

特設サイトはこちら



これまでに行った寄付企画

第1弾

■ 期間：2025年8月5日～11月3日
■ 寄付商品：お米

届けたお米 61.4トン
笑顔の数 約9,500人



第2弾

■ 期間：2026年2月10日～3月9日
■ 寄付商品：Lチキ、お米

届けたお米 24.4トン
届けたLチキ 2,440個
笑顔の数 約30,000人

※寄付先の施設利用者および児童の合計人数(概算)

“Voice ボイス”

寄付企画第2弾・Lチキのお届け先

静岡県下田市立学校給食センター 管理栄養士 増田 文菜 さま

子どもたちに身近なローソンのLチキを給食メニューとして提供し、より楽しい給食時間を届けたいと考えました。実際に楽しそうに食べている様子を見て、普段とは違う特別な思い出になったと感じています。



第3弾

■ 期間：2026年6月9日～8月31日
■ 寄付商品：ローソンのおにぎり

食品ロス削減の取り組みに、ご協力いただきありがとうございます。

● 地域循環型バイオ燃料利用

2023年11月から熊本県内のローソン店舗で、店舗から出る廃食油由来のバイオ燃料を配送車両に使用し、脱炭素化を推進する地域循環型の実証実験を開始しました。2026年5月末時点で、バイオディーゼル燃料を使用する車両は合計3台となっています。また、バイオ燃料を20%混合したリニューアブルディーゼルを使用する車両は、合計2台となっています。



● 食品ロス削減アプリ「TABETE」「Too Good To Go」の導入

消費期限が迫った商品を割引価格で販売する「TABETE」と「Too Good To Go」を都内2店舗(ローソン TOC大崎店、ナチュラルローソン 六本木ヒルズ店)で導入。詰め合わせなどの形態で提供し、環境配慮と持続可能な店舗経営を推進します。

● 冷凍おにぎりの販売・余剰食材の有効活用

食品ロス削減と物流効率化を目指し、冷凍おにぎりの販売を全国47都道府県に拡大。余剰食材を使用した手巻寿司やおせちも販売しています。

マンガでわかる「FOOD GOOD SMILE」

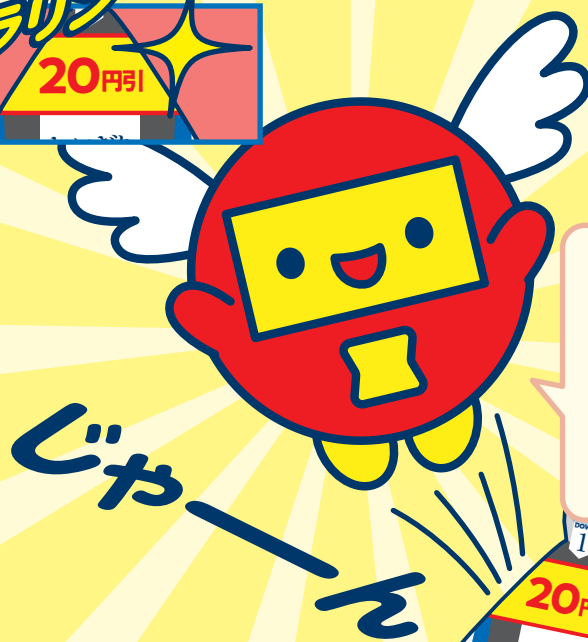
「おトク」でつながる、みんなの笑顔

お腹すいた～
今日はおにぎりにしよう



ん?
いつもより安い…

ユキ、それ、
黄色いシールが貼ってあるよ



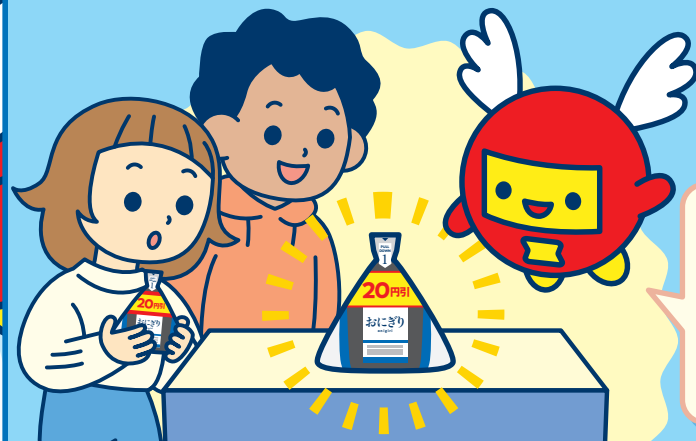
ぼくを
見つけてくれて
ありがとう!

それは
“えらんで
うれしい”
しるしだよ

消費期限が
近づき、値引き
される商品には

この黄色い
シールが
貼られて
いるんだよ

ウレシイ?
わー
ビックリした!



FOOD GOOD SMILEとは?

値引き商品を選ぶことで
ちょっとおトクにお買い物
できるだけなく、食品ロス
削減につながるお客さま参
加型プログラム



P12でも紹介中!

登場人物



ユキ
明るく素直な大学生。
大学近くのローソン常連。



ワクタ教授
穏やかで物知りの大学教授。
疑問があると
色々教えてくれる。

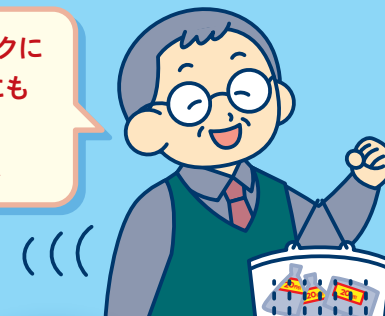


ケン
好奇心旺盛な
外国人留学生。
「コレ、ナニ?」と興味津々。



にこりん
黄色い値引きシールの精。
要約するのが得意。

ちょっとおトクに
買えて地球にも
やさしいって
うれしいよね



教授!



たくさん
の子どもたちの
笑顔に
つながって
いるよ



値引きシールが
貼られた商品を選べば、
食品ロスを減らせる
だけでなく、

期間によって対象の商品
1個につき1円分が
寄付される企画も
あるんだ



へえ～

ただ、買うだけ
じゃない
色んなイイコトが
あるんだね



なんかさ、今日
いい買い物した気がする



「おトクを選べば、
みんなが笑顔に。」



FOOD GOOD SMILE

ローソンは、持続可能な社会の実現に向けて、これからも食品ロス削減など
社会課題を解決するための取り組みにチャレンジしていきます!

CHALLENGE!

「LAWSONマチの本屋さん」が グッドデザイン賞受賞

書店併設型店舗「LAWSON マチの本屋さん」が「2025年度グッドデザイン賞」を受賞しました。書店の減少が進む地域において、マチの文化拠点を維持する新たなモデルとして高く評価されました。通常の店舗の品揃えに加え、数千から約8,000タイトルの本・雑誌を取り扱っています。
現在、計32店舗を展開しています(2026年8月末時点)。



自治体施設への マルチコピー機設置



ローソンのマルチコピー機
(品川区荏原第一地域センター)

全国のローソンに設置されているマルチコピー機は、マイナンバーカードによるコンビニ交付(「住民票」等、各種証明書の取得)に対応しており、店内だけでなく一部自治体施設にも設置しています。自治体の皆さんからは、「コンビニ交付」の広報活動にも役立っているとお声をいただいています。現在は、仙台市(宮城県)、坂東市(茨城県)、品川区(東京都)、横浜市(神奈川県)、東浦町(愛知県)、下関市(山口県)、福岡市を含む6市町(福岡県)など、計15自治体(47か所、計50台)で設置しています(2026年9月1日時点)。

リチウムイオン電池の回収

発火事故の原因となる、使用済みリチウムイオン電池内蔵製品の店頭回収を茨城県守谷市の2店舗と兵庫県神戸市の2店舗で実施しました(現在は終了)。
ごみの正しい分別を促すことで、社会課題となっているリチウムイオン電池回収およびリサイクル促進に貢献してまいります。



仙台スチューデント・シティ

子どもたちの 体験学習の支援

もっと詳しく



ローソングループでは、子どもたちが健やかに育つ環境をつくるお手伝いのひとつとして、外部の学習プログラムに協力しています。宮城県仙台市、福岡県飯塚市、東京都品川区の「スチューデント・シティ※」に体験店舗を開設し、店員体験を通じて社会の仕組みを学ぶ場を提供しています。中高生向けには課題解決に取り組む「企業インターワーク」に協力し、学生の主体的で深い学びを支えています。

※スチューデント・シティは、公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本(世界最大の経済教育団体であるジュニア・アチーブメントの日本本部)の登録商標です。



飯塚スチューデント・シティ



品川スチューデント・シティ

社会貢献活動

募金活動による支援

2025年度募金総額 **3億9,251万7,586円**

●ローソングループ“マチの幸せ”募金 3億6,722万4,007円

「子どもたちの未来のために」をコンセプトに社会貢献活動を行い、「ローソングループ“マチの幸せ”募金」では、現在2つの団体への寄付と活動の支援をしています。

もっと詳しく



夢を応援基金 (ひとり親家庭支援奨学金制度)

寄付先:一般財団法人全国母子寡婦福祉団体協議会(全母子協)
ひとり親家庭の学生(年間400名)を対象に、返還不要の奨学金を給付

ローソン緑の募金

寄付先:公益社団法人国土緑化推進機構
各地区の学校での緑化活動や森林整備活動に活用



●2025年度に実施した災害募金 1,375万1,806円

「岩手県大船渡市 山林火災 災害支援募金」
期間: 2025年3月3日~3月31日
募金額: 734万7,945円

「令和7年8月 九州地方を中心とする大雨災害支援募金」
期間: 2025年8月16日~8月31日
募金額: 248万6,630円

「岡山・愛媛 山林火災 災害支援募金」
期間: 2025年3月30日~4月15日
募金額: 285万5,188円

「大分市佐賀関の大規模火災 災害支援募金」
期間: 2025年11月22日~12月5日
募金額: 106万2,043円

もっと詳しく



●夢を応援基金(東日本大震災奨学金制度) ※現在募金の受け付けは終了しています

東日本大震災の影響で就学が困難になった学生さんを応援するため、2011年4月に創設した制度です。1,097人を対象に、月額3万円の奨学金を最長で7年間給付したほか、さまざまな活動を通して学生さんが社会に飛び立つまでをサポートしました。東日本大震災から15年が経過することを機に、当時の奨学生から“ありがとう”のメッセージをいただきました。

奨学生からの
メッセージは
こちら



ひとり親家庭の親子をご招待 ローソン ファミリーキャンプ

ひとり親家庭の親子20組45名をご招待し「ローソン ファミリーキャンプ2025 in ハピロー!の森 京都」を2025年10月に開催しました。自然との触れ合いや森林整備体験などを通じて、親子の絆を深めるとともに、子どもたちの健やかな成長を応援する取り組みです。

※ローソンは2024年4月から、「ハピロー!の森 京都」として、京都府南丹市の森林公園「京都府立府民の森 ひよし」のネーミングライツを取得しています。



全国各地でチャレンジ中！ エリアでの取り組み

CHALLENGE!

北海道

「北海道オニオンスープ」味のポテトチップスを発売



2025年11月に、「ローソンファーム北海道本別」で収穫したじゃがいもと、北見市などオホーツク地方のたまねぎ※を使用した「北海道オニオンスープ」で味つけたポテトチップスを発売。商品の売上の一部は、たまねぎ農業などの振興に活用いただくため北見市へ寄付しました。

※たまねぎの一部には規格外品も含まれており、食品ロス削減にも寄与しました

東北

東日本大震災の被災地応援商品／秋田県立金足農業高等学校とベーカリー共同開発

2026年3月から「三陸常磐んめえ味めぐり」として青森・岩手・宮城・福島各県の食材を使用した「真鱈のおにぎり」など計17品を東北地区で展開しました。商品発売を通じて、三陸常磐地域の生産者の皆さまを応援しています。



2026年5月から同校の生徒さんと開発したベーカリー2品を東北地区の店舗で発売。生徒さんが育てた「金農米」の米粉や秋田県産の小麦や卵などの食材を使用。同校との取り組みは15年目となりました。



北関東

規格外の山梨県産すももを活用やまなし農業女子プロジェクト・桃花台学園コラボ商品

2026年7月に、女性農業者の活躍を応援するために農林水産省が推進する「やまなし農業女子プロジェクト」と、山梨県立高等支援学校桃花台学園とのコラボ商品2品を関東甲信越の店舗で発売しました。



首都圏

荒川河川敷(葛飾区)で清掃活動／品川区「フレイル予防フェスタ2025」で講演

2025年11月に東京都葛飾区の荒川河川敷(木根川橋周辺)の清掃を行いました。都内の加盟店オーナーや従業員・社員とその家族など56名が参加。合計24袋分のごみを回収しました。



2025年11月に、「フレイル予防フェスタ2025」で食の安全・安心について講演を実施。併せて展示コーナーでは、当社のサステナビリティの取り組みを紹介しました。



中部

「ねんりんピック岐阜2025」に合わせて岐阜県産食材使用の商品発売／中部地区での出張授業を実施



「第37回全国健康福祉祭ぎふ大会(ねんりんピック岐阜2025)」に合わせて、2025年10月に中部地区の店舗で応援商品2品を発売。寄付つき商品として、岐阜県老人クラブ連合会へ寄付を行いました。



当社社員が中部地区(愛知県、静岡県)の小中学校・特別支援学校に伺い、SDGsや働くことに関する授業を、2025年度に計15回実施しました。

近畿

入院中の子どもたちへクリスマスプレゼント／京都市の小中学生の学びを支援約1,300人の子どもたちが参加



2025年12月にユニバーサル・スタジオ・ジャパンと連携し、大阪市立総合医療センターに入院中の子どもたちへクリスマスプレゼントを贈りました。医師や社員ら約30名が参加し、グッズのラッピングを行いました。



京都市教育委員会が提供する体験型学習プログラムに参画。小学生向けには模擬店舗での接客体験やSDGsを考えるディスカッションを、中学生向けには食品ロス削減などの課題解決に向けた企画書作成プログラムを実施しました。



中四国

小豆島(香川県)に店舗オープン／鳥取県立琴の浦高等特別支援学校での出張授業

2025年10月に小豆島に初めてローソンをオープン。2026年1月にオープンした「小豆島池田港前店」は、お神輿をモチーフとした外観が特長です。フェリーターミナルの近くにあり、島民の皆さんの通勤や通学時にご利用いただいています。



小豆島池田港前店の外観

琴の浦高等特別支援学校で接客や売場づくりに関する授業を2025年度に計5回実施し、同校の1年生35名に、お店のルールやレジ対応、商品陳列の体験などを学んでいただきました。2013年から継続し、累計63回の授業を行いました。



九州

熊本市と連携しドライブレコーダーでの見守り活動と店舗での「バス待ち処」を実施

2025年11月から配送トラックやローソン社用車計40台に専用ステッカーを貼りパトロールを実施し、事件事故の早期解決を目指しています。また、2026年2月から市内の19店舗を「バス待ち処」として開放しています。



2025年度
加盟店
SDGs表彰

受賞店舗の取り組み紹介

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs推進に向けた 取り組みでマチを幸せに

全国各地のお店で取り組んでいる
「マチを幸せにする」活動事例を募集し、
2025年も加盟店SDGs表彰を行いました。
受賞した11件の取り組みをご紹介します。

北海道
道東支店
帯広西17条北店

受賞 | 近所の方や学生クルーと
一緒にごみ拾い



店長(取材当時)
今村 周平さん

近所の方や学生クルーと一緒に歩道や車道も含め店
舗敷地外のごみ拾いを実施。週に3~4回、少しずつ
範囲を拡大して清掃しています。近所の方々と親しく
なりお買い物にも来てくださることがうれしいです。

東北
宮城北支店
河南町広瀬店

受賞 | 障害者や子どもの
サポート、地域貢献活動



オーナー
鈴木 光さん
店長
鈴木 映美さん

障害者の就労支援センターに協力し、毎年6月、7月に一
度、障害者のお買い物体験を受け入れています。
近隣小学校のまち探検やごみ拾いの受け入れにも協力。
地域貢献として盆踊り大会への出店も行っています。

北海道
道央支店
岩見沢南町9条店

受賞 | 障害者の就労を支援



オーナー
福岡 優貴さん

店長
福岡 みかさん

近隣の特別支援学校に通学していた障害のある方を
厨房担当の従業員として雇用。初めは店長がつきき
りで業務を教え、店舗一丸でサポート。一人で弁当作
成ができるまでに成長されました。

東北
青森西支店
尾上町店

受賞 | 車いすや松葉杖の
お客さまのお手伝い



オーナー代行
横嶋 むえ子さん

店長
工藤 千春さん

車いすや松葉杖のお客さまが車で来店される際、
降車が大変なため店舗駐車場から電話で必要商品
を連絡いただき、車の前まで商品をお持ちしています。
お客さまからは感謝の言葉をいただいています。

北陸・三岐
富山西支店
新湊津幡江店

受賞 | ムスリムの
「ほっとステーション」

ムスリム(イスラム教
信仰者)の若者たちが
商品を念入りに確かめ
る姿を見かけ、誰にで
も便利なお店でありた
いと、2021年から豚肉
などを使用しないハラ
ル商品の取扱いを
開始。現在は100品目
を展開しています。



店長
門嶋 貴子さん

全国各地で「マチを幸せにする」ための
取り組みを行っています!

CHALLENGE!

大阪・和歌山
吹田支店
瀬川店

受賞 | 万引き防止講習の実施



オーナー
木下 芳彦さん

家庭裁判所で「万引き被害の実情を知る」講習を毎月実
施。万引きで摘発された少年や保護者に、再発防止と社会
復帰を目的としてコンビニの地域での役割や万引きされ
たときの店舗の被害や店員の気持ちなどを伝えています。

中四国
広島西支店
広島市場町店

受賞 | イートインスペースで
いきいき百歳体操

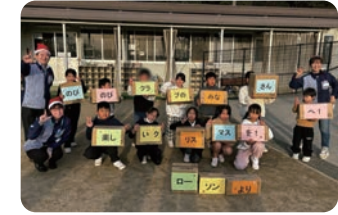


オーナー
長谷 直美さん

毎週木曜14時から40分程度、イートインスペースの
一部のスペースを活用し、65歳以上の方を対象に「い
きいき百歳体操」を実施。体操後にはお茶会も開催
し、地域密着型のコンビニとして盛り上げています。

中四国
岡山西支店
倉敷福田店

受賞 | 学童保育施設へ
からあげクン・菓子の無償配布



オーナー
豊島 力さん

コロナ禍でローソンが実施したおにぎりの無償配布を
機に、学童保育施設と連携し、施設のクリスマスなど
のイベントでからあげクンや菓子を無償配布。地域の
皆さんと一緒にあり続けるローソンを目指します。

中四国
鳥取支店
日南生山店

受賞 | 障害者の
就労支援とアート展示



店舗責任者
河本 博司さん
店長
佐々木 裕樹さん

店舗は障害のある方などが雇用契約を結んで働く福祉
サービス「就労継続支援A型」事業所です。障害者の働
く場の提供、障害者が制作したアートの作品の展示を
行っています。※清掃業務などの際に専用の服を着用

中四国
愛媛東支店
今治別名店

受賞 | 行政や地域企業と関わり
地域イベントに参加



オーナー
檜垣 晋司さん

地元のサッカークラブと連携しサイン会などの企画
を実施するほか、地域イベントの「せとうちみなとマル
シェ」などに出品。積極的に行政や地域企業と関わり
、地域創生に努めています。

ローソン沖縄
沖縄北支店
名護バイパス店

特別
賞 | 店舗と隣接の荒地を
マチの癒しのガーデンへ



オーナー
砂川 有紀さん

店舗の隣接地は雑草が生い茂りハブや蜂など危険生
物が発生する荒地だったため、管理者の名護市へ許可
を取り整備を開始。約3年で季節ごとに楽しめる手づ
くりの花木ガーデンに。今も景観維持に努めています。

ローソングループ各社で SDGsに取り組んでいます

ローソングループ丸となり、「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」というグループ理念のもと、社会やマチのためになるチャレンジを続けています。

CHALLENGE!

国内コンビニエンスストア事業

LAWSON

13,973店

NATURAL
LAWSON

134店

LAWSON
STORE 100

590店

海外事業

計7,793店舗
中国……………6,977店
タイ……………227店
インドネシア ……351店
フィリピン ……236店
米国ハワイ州 ……2店

金融関連事業



ATM設置台数 ……14,046台
提携金融機関数 ……406社

エンタテインメント関連事業



46店舗



41劇場
385スクリーン



236店舗

※2026年2月末時点

中国



自閉症児童の 支援として作品を プリペイドカードデザインに

中国青少年発展基金会在主導する社会公益事業「希望工程」と大連ローソンが共同で、自閉症児童の支援の一環として絵画コンテストの優秀作品をプリペイドカードのデザインに使用しています。

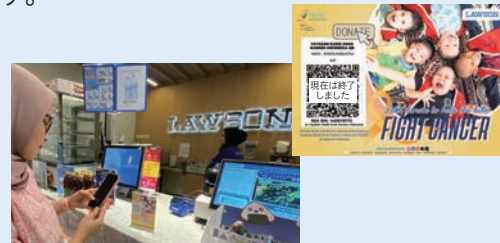


インドネシア

LAWSON

小児がん患者への 支援活動を実施

インドネシアでは、インドネシア小児がん財団(YKAKI)と協力し、がんを患う子どもたちを支援するための寄付キャンペーンを行いました。また、世界子どもの日を記念した取り組みなどを通じて、広く募金を呼びかけており、集められた寄付金は治療支援や家族の負担軽減に役立てられています。



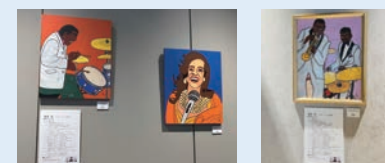
寄付キャンペーンの店頭告知

ローソンエンタテインメント

LAWSON
ENTERTAINMENT

障害のあるアーティストの 作品を応接に展示

お取引先さまをはじめとしたすべてのお客さまにわくわくした気持ちを感じていただくとともに、従業員の働きがいにもつなげることを目的に本社応接スペースで2026年4月から「アート」を展示しています(パソナグループの特例子会社である株式会社パソナハートフルのアーティストの作品)。明るく彩りのある空間を創るとともに、障害のあるアーティストの皆さんを応援し、ご紹介する機会につなげてまいります。



ローソン銀行



ユニバーサルデザイン の視点を取り入れた 新型ATMを1万台以上導入

「誰でも便利に使える」デザインを目指した新型ATMの導入台数が1万台を超え、お客さまの利便性向上にますます寄与しています。車いすのお客さまも近づいて操作しやすい設計で、さらに視覚障害のある方などが音声ガイダンスで取引できるよう、ガイドフォンを備えています。



カラーユニバーサル
デザイン認証を取得



ローソンスタ100

LAWSON
STORE 100

働きやすい環境づくりのため ユニフォームは長袖・半袖の 選択制に

店舗での働きやすい環境づくりを目指して、2023年から従業員の声を反映したユニフォームを導入しています。体感温度は人それぞれであるため、現在は年間を通して、ユニフォームの長袖・半袖を選択できるようにしています。



成城石井



Jリーグ 横浜F・マリノスと共に 東日本大震災復興応援の サッカー教室を開催

2025年9月、岩手県山田町でJリーグ 横浜F・マリノスと共に小学生を対象に復興応援のサッカー教室を開催しました。社員自ら現地へ赴き、BBQなどでの交流も行い、「顔の見える支援」で震災の記憶の風化を防ぎ、地域の活性化にも貢献しています。

